

# たんぽぽ

## 「チーム医療」

都市部も地方も病院勤務医の減少に歯止めがかからない。辞めていく原因については勤務医側からみると、過酷な勤務体制、医療訴訟への危機、モンスター患者の増加、女性医師だけが抱える問題ではないが育児や子弟の教育、両親の病气や要介護状態などがあげられる。だが厚労省もマスコミも気づいていないが、私は「チーム医療の崩壊」ともう一つ「医学部入試制度」に問題の根源があると考える。

政治の世界では世襲制が進み、国会を見ると2世3世のお坊ちゃん議員ばかりでその意味で「北朝鮮」を非難できない。医師の世界も同じことで私の息子も勤務医であるが同級生の大半は親が医者である。40年前、私が医学生だったころ親が医者であつた同級生はたった2人だけ。卒業後は基礎医学の研究室に入つた者もいたが、ほとんどが外科、内科、小児科、婦人科、麻酔科、泌尿器科など過酷な職場を選んだ。そろそろ定年に近づき、ちらほり開業したころ知らせもあるがたくましく第一線で活躍を続け、また後輩の指導に当たり「勤務医の立ち去り型サボタージュ」とは無縁である。誤解してもらっては困るのであえて言うに世襲が問題ではなく、本当に医者になりたい学生が医者になれないという教育現場が問題なのである。40年前から医学部入試の偏差値は東大・京大の理科系学部並みでそれは今もおなじ。違ふのは高い偏差値を獲得するためには特別な英才教育が小学生低学年から必要になったこと。→

高偏差値教育にはお金がかかるから普通の家庭やまた地方に信じていることがない。小学生の頃に野球や水泳、サッカーなどのクラブで活躍していたら医者のコースに乗り遅れてしまう。さらに高校の進学担当者は自校の名声をあげるため偏差値の高い生徒を医学部受験へと誘導する。その結果「赤髻医者」や「Dr.コトー」を目指さず医学部が極端に減り、都心の一等地で美容形成を営みセレブに囲まれる生活を夢見ている輩の多いこと。

「チーム医療」の重要性は以前から指摘されてはきたがそれは医療を受ける患者側からの要求であつた。しかし病院勤務医が高いモチベーションと高貴なプライドを持ち続け「立ち去り型サボタージュ」する必要がなくなる「新しいチーム医療」。勤務医たちが求めているものは高い報酬でもなければ長期休暇でもない。20数年前、私が但馬にきてしばらくたつた頃、若い研修医であつたDr.たちと一杯飲みながら議論ある中、開業医と勤務医の合同研究会を開く約束をした。年3回の開催であるが第70回を数えるまで今も延々と続いている。一度も休んだことのないのが私といふ鹿病院副院長片山先生である。そこから学んだことが「チーム医療」である。医師は常に新しい医学、高度な医療への挑戦を本能的に望んでいる。医師として人間として、報酬より学び教えることを求めている。国・県・市町の行政責任者は「医師が学ぶ環境づくり」に力めに取り組み、医療崩壊防止の新しい試みとして全国に発信してほしい。 院長

## テレホンサービス

☎ 通話料無料 0120-979-451  
(携帯電話からはご利用いただけません)

### 《4月のテーマ》

- 月曜日 白内障手術を受けた人の注意点-眼内炎、メガネのこと
- 火曜日 大人の歯列矯正
- 水曜日 高血圧症の新しい考え方-2009年ガイドライン
- 木曜日 アレルギー性鼻炎の減感作療法
- 金土日 新しいニキビの治療薬

### 《5月のテーマ》

- 月曜日 小児の血尿と蛋白尿
- 火曜日 口は健康のパロメーター
- 水曜日 スポーツと疲労骨折
- 木曜日 くり返す膀胱炎の予防
- 金土日 高齢者の睡眠障害について

祝祭日は前日の放送が流れます

http://www.hhk.jp/ (過去の放送分も掲載しています)

## 森医院ホームページのおしらせ

2004年に開設したホームページは、医院のご案内や診療指針をはじめ、検査機器の紹介、たんぽぽ集など院長と職員が心を込めた手づくりのものとなつていま。4月にリニューアルいたしました。是非ご覧下さい。  
＜アドレス＞

http://www2.ocn.ne.jp/~moriin/

## 職員紹介

看護師の三浦亜弓です。森医院に勤務して一年になりました。まだわからないことが多くありますが少しでも患者さんの気持ちを知り、くすぶる笑顔で頑張りたいと思っています。



これからもよろしくお願ひします。

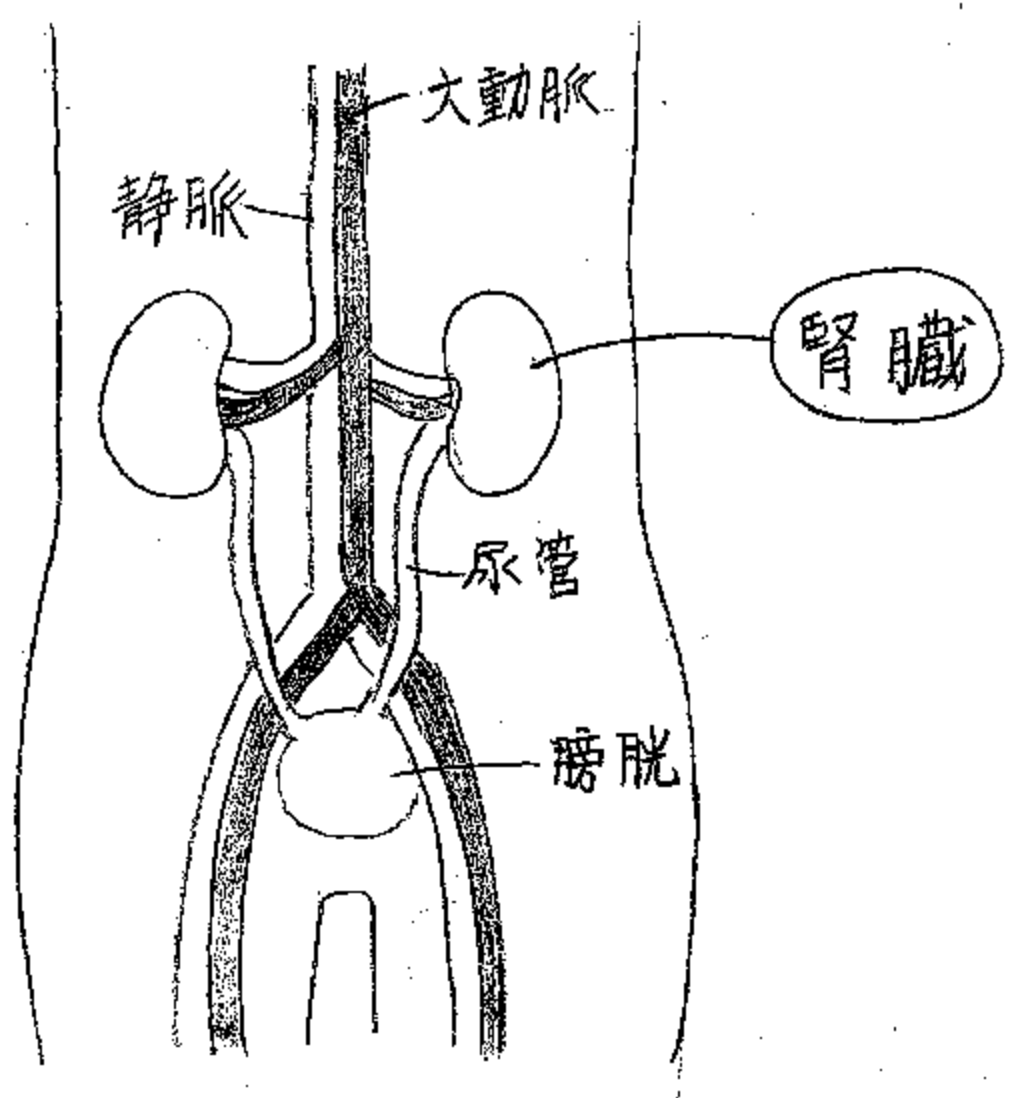
スリムだけど根性ありです



# 腎臓の働きとCKD



腎臓はそら豆のような形をした大人の握りにぶし大の臓器です。腰のやや上に背骨をはさんで左右1コずつあります。



- ① 体内の老廃物を血液から「ろ過」して尿として体外に捨てます。
- ② 尿の成分、量を調整して、体内の水分量・血圧を調節します。
- ③ 血液中の電解質(ナトリウム・カリウム・カルシウム等)を調節します。血液を弱アルカリ性に保ちます。
- ④ ビタミンDを活性化してカルシウムの吸収を促し、骨を丈夫にします。
- ⑤ 造血刺激ホルモン(エリスロポエチン)を出して骨髄に赤血球を作らせます。
- ⑥ 身体にとって不要になったホルモン(インスリンなど)を壊したり、捨てたりします。
- ⑦ 身体に必要な栄養分(蛋白・血液・糖)は尿にもらさないようにします。



## CKD (慢性腎臓病)



CKDは、自覚症状がないまま、徐々に腎機能が低下していく病気のことです。

- 1 蛋白尿が出ている → 尿検査で分かります。
- 2 GFRが60ml /分 /1.73m<sup>2</sup>未満 → 血液検査の血清クレアチニン値から分かります。  
※ GFR (糸球体ろ過量)

腎臓の働きの程度はGFRで表わされます。GFRは血清クレアチニン、年齢、性別から推算され、その値を推算GFR値といいます。

両方またはどちらかが3ヶ月以上続くとCKDと診断されます。

CKDでは、心臓病や脳卒中を起こす危険が約3倍高まります。

腎臓が悪くなると腎不全になり透析が必要になります。

### 【CKDの主な原因】

高血圧症、糖尿病、脂質異常症、加齢  
メタボリックシンドローム、慢性糸球体腎炎

### 【CKDの治療】

- ・減塩
- ・食事管理
- ・血圧管理
- ・血糖管理
- ・適度な運動
- ・脂質管理
- ・禁煙

### 編集後記

今回は少し聞き慣れないCKDという病気をとりあげてみましたがいかがでしたか？大切な腎臓をしっかり守ってあげたいものです。たんぽぽ 次回7月発行予定です。ご投稿をお待ちしています。

足許に春が来たよ」とアナウンス  
眠れる未来も  
目を覚ますらむ  
匿名

